



今月は60歳代の今も現役でバスケットボールをしている小山治子さんを紹介します。
 小山さんがバスケットボールを始めたのは中学生のとき。姉の友人から誘われたことがきっかけでした。1年生のときは練習や経験を重ねることに専念し、2年生からはレギュラーとして試合でチームに貢献してきました。高校生まで続け、その後は就職や結婚、出産・育児などでバスケットボールから離れていました。
 バスケットボールを再開したのは2人目の子どもが中学生になった40歳のときでした。高校時代の先輩からバスケットボールチームへの誘いを受けたことで、埼玉県バスケットボール協会家庭婦人のチームに加入し、10年間ほど練習や試合に励んでいました。その後一緒にチームに所属していた仲間の1人が行田市で結成した新しいチーム「Frees(フリーズ)」の初期

メンバーとして参加し、現在も活動しています。チームのメンバーは30代から60代の男女と幅広く、普段は週に1回、2時間程度の練習をしています。チームメンバーは練習以外でも食事会をするなど仲が良く、「このメンバーがいるからこそまで長く続けられています」とチームの魅力を話してくれました。小山さんはチーム最年長ですが、「走ることが好きで、得意な攻撃は速攻です」と若いメンバーにも負けない、気持ちの込もったプレーでチームを引っ張っています。
 最近の楽しみはチームでの練習時に中学生のお孫さんと一緒にバスケットボールをすることだそうで、「まだ数回しか一緒に練習できていませんが、今後の楽しみの一つです」と話してくれました。
 そして「後々後悔しないように今やりたいことをやる」と語る小山さん。今自分にできることを一杯取り組み、「70歳までが無く健康にバスケットボールを続けていきたい」と笑顔で話してくれました。激しいスポーツでもあるバスケットボールを今も楽しみながら続けているその原動力には、同世代だけでなく、若い世代のチームメイトとの交流やお孫さんと大好きなバスケットボールをする楽しいひとときがあるでしょう。小山さんの年齢を感じさせないパワフルな姿が周囲の人に元気を分け与えています。



バスケットボールが私の元気の源

小山 治子さん (谷郷・64歳)

来て! 見て! 図書館

開館時間
 午前9時～午後7時
 休館日
 9月2日(月)・3日(火)・9日(月)・17日(火)・24日(火)・30日(月)・10月1日(火)～4日(金)・7日(月)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

●市立図書館●
 佐間3-24-7(「みらい」内)
 TEL:556-4227
 FAX:555-3770

特別整理期間(蔵書点検)に伴う休館

図書館で所蔵している資料があるべき場所に収まっているかを確認し、行方不明などの資料がないか点検する作業や、通常の館内整理日にはできない大掛かりな書架の整理を実施するため、次の期間中は休館します。返却資料がある場合には、ブックポストをご利用ください。

▶休館期間 9月30日(月)～10月4日(金)

ぎょうだ電子図書館をご利用ください

蔵書点検中、図書館の利用はできませんが、市内在住の方で図書館利用カードをお持ちの方は、ぎょうだ電子図書館をご利用できます。

「利用者ID」には利用カード表面のバーコードの下に書かれている利用者番号7桁(ハイフン不要)を入力。「パスワード」は、最初に利用する時に仮パスワード(ご自分の生年月日8桁)を入力してログインできます。



うたってあそんでわくわく 親子の絵本講座(秋の巻)

絵本を読み聞かせたり、歌に合わせて手遊びをしたりして健やかな親子のコミュニケーションを育みませんか。子育ての不安や楽しさを分かち合う場として、ぜひご参加ください。

- ▶日 時 10月18日(金)午前10時30分～11時45分
- ▶場 所 中央公民館レクリエーション室
- ▶内 容
 - ・絵本の読み聞かせ、歌遊び、わらべ歌などを親子で楽しむ。
 - ・絵本の遊び方や与え方について学ぶ。
 - ・子育ての不安や疑問などについて講師を交えてグループトークを行う。
- ▶講 師 島田ユミ子さん、平井直美さん(埼玉県家庭教育アドバイザー)
- ▶対 象 乳幼児とその保護者
- ▶定 員 10組(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶申し込み 9月1日(日)から直接、電話、行田市電子申請・届出サービスのいずれかの方法により図書館



行田歴史系 366

資料がかる行田の歴史 66

かつて須加の水田に埋もれていた古墳

〜東京国立博物館所蔵資料から〜



須加で出土した鹿角装刀子
 出典:ColBase (https://colbase.nich.go.jp)

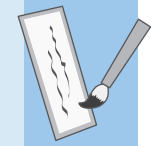
須加地区には、かつて古墳がいくつ也存在しており、大稲荷古墳群を形成していました。しかし、開墾や土取りにより、現在その姿を見ることはできません。遡ること約1000年前、大正時代に一基の古墳(大稲荷1号墳)が須加地区から発見されました。その発見は当時の新聞で取り上げられるほどの出来事であり、稲荷神社跡の小高いところを切り崩した際に、長さ約2.1メートル、幅約0.7メートル、高さ約0.6メートルの石棺が現れたとのことです。石棺の中からは、鉄刀、鏡2面の他2品が一緒に出土したとされています。その中の鹿角装刀子と四獣鏡は、発見者によって現在の東京国立博物館に寄贈され、収蔵されています。

鹿角装刀子(写真)とは、手で握る柄の部分でシカの角で作った小刀のことです。全体の長さは約12.2センチメートルで、刃部は鉄製で錆が見られ、切先がわずかに欠けているようです。刃部の長さは約3.5センチメートルと短く、鹿角の柄が長くなっています。四獣鏡は面径約11.6センチメートルの小型の青銅製の鏡です。
 その後、この古墳は昭和44(1969)年の緊急発掘調査で水田の下から埴輪列などが発見され、径約26メートルの円墳と推定されました。出土遺物から5世紀後葉の築造と考えられ、埼玉古墳群の始まりとほぼ同時期であることから、埼玉古墳群とどのような関係があったのかを考えさせられます。

この地区では、地殻変動や河川の氾濫の影響により遺跡が地中深くに埋もれていたため、現在までに古墳以外はほとんど発見されていませんでした。しかし近年、本市の利根川沿いでは、堤防強化対策事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査によって、新たにいくつかの集落遺跡が発見されています。その最新の調査の進展により、須加地区の埋もっていた歴史の一端がさらに明らかにされていくでしょう。

(郷土博物館 篠田泰輔)

私の作品



俳句

小見 川島 盾子
 傘立てに一泊二日瘦せバツタ
 城西 榊原しずか
 運命線真つ直ぐ伸びて夏盛ん
 門井町 宮田 淑尚
 生かされて生きて八月十五日
 棚田町 川鍋 幽覚
 三伏や旗上げて待つ渡し舟
 藤原町 斎藤雄次郎
 遠からず子は離れゆく鳳仙花
 緑町 松林 真弓
 みどり児の眉美しき昼寝かな
 富士見町 鈴木スイ子
 木漏れ日の躊躇囿む苔の花
 持田 小倉 繁三
 座禅堂大樹にすがる苔の花
 埼玉 荻原 増夫
 子供等の神輿は空を行く如し
 (三沢 一水 選)

谷郷 羽石 芳道
 橋桁に子育てで忙し夏燕
 下忍 荒井 王子
 通る人皆立止まる姫女苑
 持田 二瓶 弘子
 寝そびれて羊何頭明易し
 和田 小林 博矣
 一瀑に寄ればミストの癒しあり
 長野 牧 努
 間に咲き間に消えゆく揚げ花火
 矢場 島田 健治
 夏霞鄙びる寺に異邦人
 富士見町 江利川敏夫
 大西瓜冷蔵室を占拠せり
 本丸 栗原キヌエ
 忍の里千古の蓮の目覚めかな
 旭町 大川 恵子
 クワガタの成長期する子の健気

○俳句応募方法 一人3句以内。毎月末日(必着までに、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。